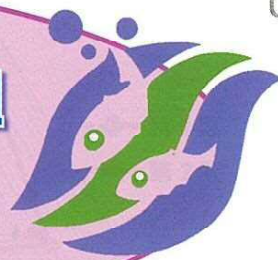




## 滑川町 人権教育の取組

「分かり合い 伝え合える まちづくり」

～2年次～



滑川町では、平成30年度から3年間、文部科学省及び埼玉県教育委員会より「人権教育総合推進地域事業」の委託を受けて人権教育に取り組んでおります。この「人権教育総合推進地域事業」とは、学校、家庭、地域社会が一体となり、人権教育の総合的な取組を教育委員会と連携・協力し推進するものです。推進することにより、地域全体で人権意識を培うための人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にしたい教育の充実を図ります。

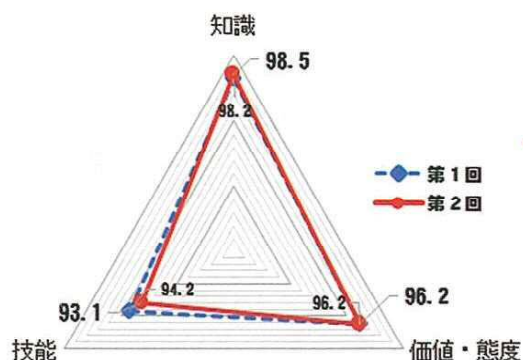
本町においても、偏見や差別、いじめ、虐待等、人権に係る課題があります。その解決のためには、発達段階に応じて、人権に関する正しい知識を身に付けることや、互いの心情や置かれている状況を理解し合い、相手を思いやる態度を育成することが必要です。また、子供たちが人権に関する知識と人権感覚を有し、一人一人が自他を大切にするとともに、互いを認められる安心感の中で考えを伝え合えるようになることが大切であります。これは、「住まいるタウン滑川」の実現にもつながると考えております。

### 子供たちの現状

児童生徒の人権に関する知識や人権感覚についての育成状況を定量的に把握、検証をするため、人権学習に関わる質問紙調査を実施しております。平成30年5月に第1回、平成31年1月に第2回の調査を行いました。質問紙調査は、人権教育の目標達成に必要な知識、価値・態度、技能の観点と人権感覚育成のための9つの視点を盛り込んでおります。

### <人権教育の目標達成に必要な知識、価値・態度、技能の観点>

【小学校低学年】



#### 知識、価値・態度、技能とは？

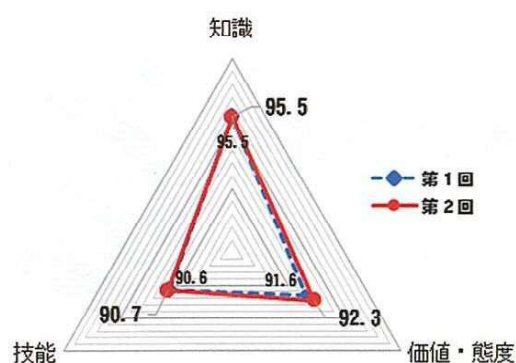
「乗り物で席を譲る場面」で考えると…

**知識**…「席を譲る」意味を理解している

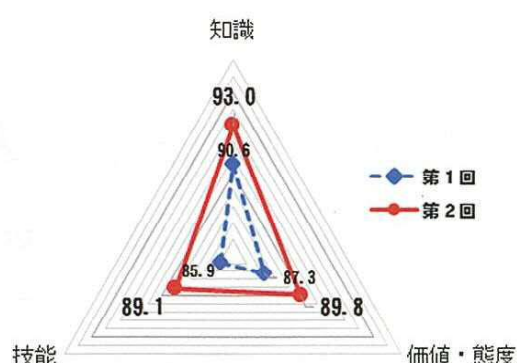
**価値・態度**…席を譲ろうと思える

**技能**…具体的にどう支援（声掛け等）し行動したらよいか判断できる

【小学校高学年】



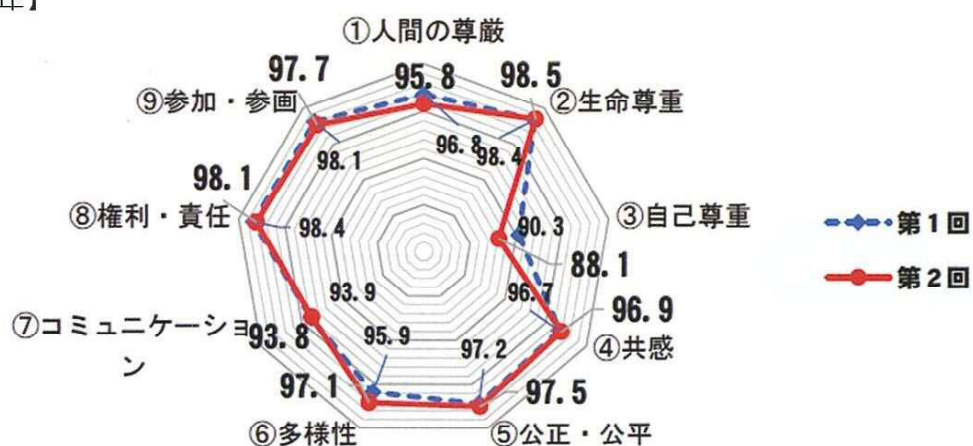
【中学校】



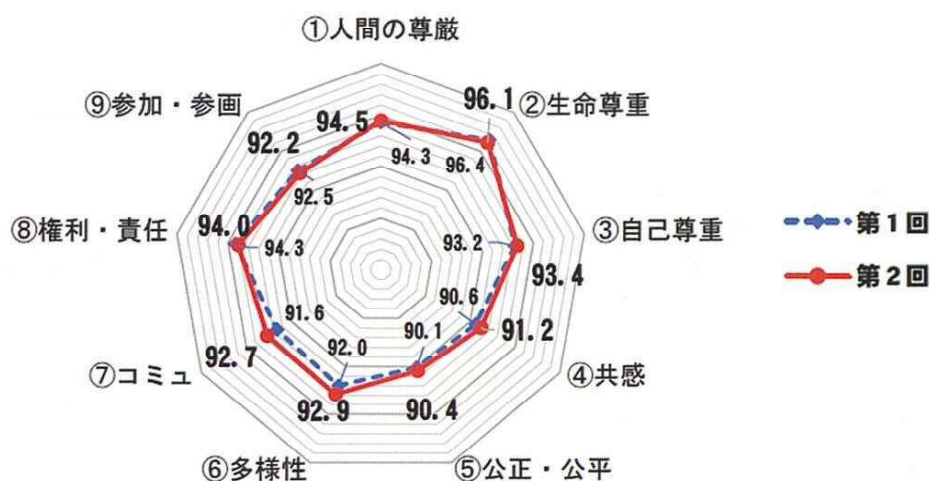
どの項目も比較的高い数値を示していますが、「技能」の項目が小・中学校共に低い傾向にあります。知識、価値・態度が技能へとつながるよう、体験を通して学ぶことを重視していきます。

## <人権感覚育成のための9つの視点>

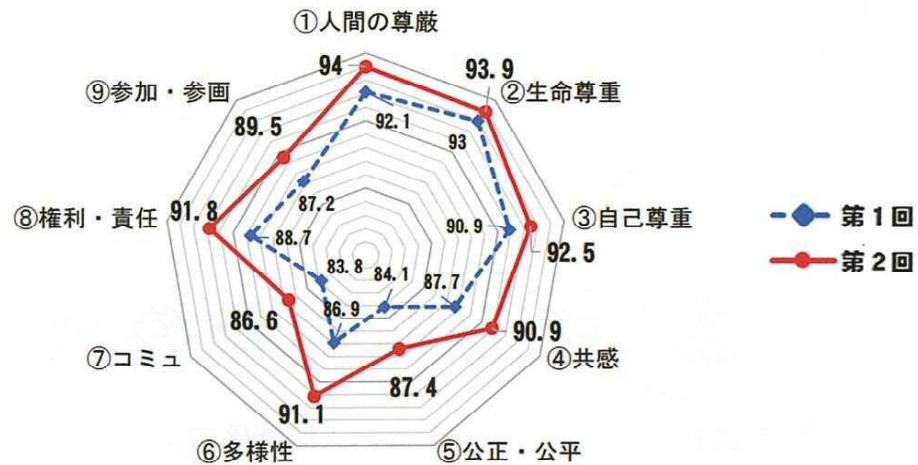
【小学校低学年】



【小学校高学年】



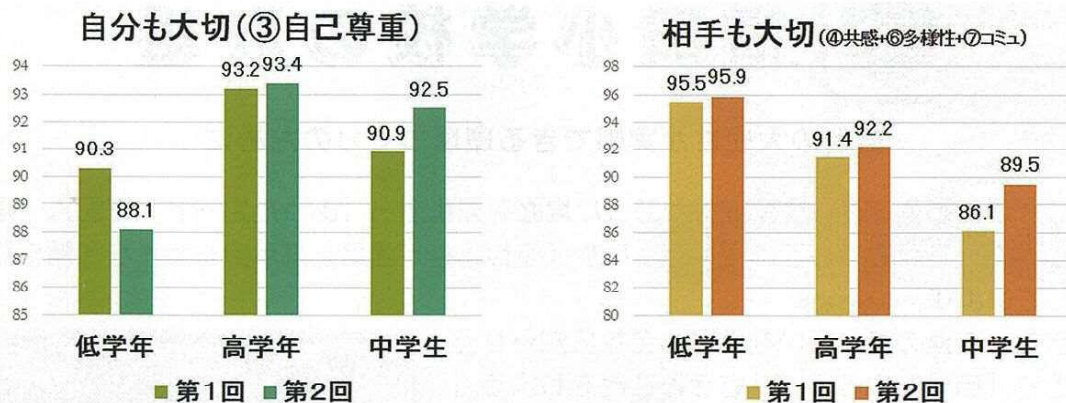
## 【中学生】



人権感覚育成のための9つの視点でも、全体的に高い数値を示しております。2回の調査を比較すると、小学校低学年では全体を通して微減傾向にあり、これは、自分自身への評価の目が厳しくなっているためであると考えます。全体的には上昇傾向にあり、引き続きできていることや伸びを積極的に称賛し、自己肯定感を高めてまいります。

本事業のねらいである「一人一人が自他を大切にすること」に関して、本町では「自分も大切 相手も大切」というキーワードにし、児童生徒にも浸透しやすいようにしました。そして、「自分も大切 相手も大切」の意識が身に付いているかについては、質問紙調査を基に検証しました。

「自分も大切」は③自己尊重で、「相手も大切」は④共感、⑥多様性、⑦コミュニケーション能力の3観点の平均で検証することとしました。①人間の尊厳、②生命の尊重も「自分も大切」「相手も大切」の両方に関連する内容のため、ここでは検証の対象とはしないこととしました。



### 【「自分も大切」について】

小学校高学年及び中学生については向上が見られます。小学校低学年では、2.2ポイントの低下が見られました。自尊感情を醸成することのできる活動を取り入れ、自分を大切にする経験を積み重ねていく必要があります。

### 【「相手も大切」について】

全ての段階で向上しています。特に、中学生では「互いが気持ちのよいコミュニケーションの取り方」について重点的に指導したことで、意識の変化が見られたと考えています。

## 学校・行政の取組

人権に関する知識や人権感覚を身に付けていくために、学校、教育委員会等が連携・協力し、次のような取組を行っています。

### 【学校の取組】



## 宮前小学校の取組

### 校長の経営方針「いじめや差別のない人間関係づくり」実現に向けた取組



教師の話に真剣に耳を傾ける子供たち

全学級で「児童の自己有用感を高める」と「傾聴」を合言葉に人権教育に取り組んでいます。本校の目指す児童像「人の話をしっかり聞き、建設的に主張する」の実現に向けた全教職員による取組の結果、他人の意見を傾聴する児童が増えてきました。また、褒めることを意識した指導により、児童の自己肯定感が高まり友達のよさを認めることができる児童が増えてきました。

あいさつは人間関係を築く第一歩です。そこで、道徳主任が「あいさつ名人」について講話を行ったり、「元気に」「笑顔で」「自分から」「会釈して」「立ち止まって」「言葉を続けて」と児童の発達段階に応じたあいさつに全校で取り組んだりしています。



## 福田小学校の取組

### 自他の大切さが実感できる環境づくりのために

心が温まるすてきな言葉掛けがあった場面を児童自ら「あったカード」に記入・掲示し、カードを増やしていく「あったか（ふわふわ）言葉」掲示コーナーを各階に設置しています。

また、友達の善い行いを発見し全校に知らせることで「自分もやろう。」「できることをしよう。」という気持ちを喚起する「福田小のすてきさん発見コーナー」も設置しております。

自分や友達の「よさ」を知り、似ているところや違いを発見・再認識させ、よりよい交流の材料となる「大好きマップ」も作成しております。

その結果、自他共に肯定的に捉える発言や行動が、今まで以上に多く見られるようになりました。



「福田小のすてきさん発見コーナー」の掲示



## 月の輪小学校の取組

### 道徳教育を通して、人権感覚を高める取組

平成 30 年度は、研究主題を「人とのかかわりを豊かにし、ともによりよく生きる児童を育てる教育～ともに話し合い、自分のことが好きになれる児童の育成をめざして～」として、全校を挙げて道徳の学校課題研究に取り組みました。道徳教育を充実させ、人を思いやる態度や自他を大切にすることを育成することが、子供たち一人一人の人権感覚を高めることにつながっています。

校内授業研究会を年間6回実施し、よりよい授業づくりを目指して、活発な協議が展開されました。協議で挙げた改善点は、すぐに次の指導に生かすようにしました。



道徳の研究授業の様子



## 滑川中学校の取組

### アサーション・トレーニング（※1）による人間関係づくり

第1学年で行ったアサーション・トレーニングを養護教諭と担任が、第2学年でも行いました。

集団生活の中で発生したトラブルを解決する方法や自分の気持ちを上手に伝えるスキルを身に付け、コミュニケーション能力の育成を図りました。

事前に、養護教諭の指導の下、教職員の研修会を実施しました。



教職員の研修会



第2学年でのアサーション・トレーニングの様子

## 【行政・その他の取組】

### 人権教育に関する指導力向上のための教職員研修会



夏季休業中に幼稚園・小中学校の全教員が集まり、講義を受けました。

### 児童生徒対象 アサーション・トレーニング講習会 (全校実施)



#### アサーション・トレーニングとは…(※1)

自分と他者、双方を大切にしながら自己表現を行うコミュニケーション・スキルのトレーニングです。

埼玉大学教育学部 沢崎 俊之 教授に御指導いただきました。

上記写真は、役割演技(ロールプレイ)を行い、互いに気持ちのよいコミュニケーションの取り方を学んでいる場面です。

### 人権教育に関する授業の一般公開



平成 30 年の 9～11 月にかけて、町内全校で実施しました。全教員が人権教育に関する授業を公開するようにしました。

|                         |      |    |    |            |                                                             |
|-------------------------|------|----|----|------------|-------------------------------------------------------------|
| ②<br>9:30<br>～<br>10:15 | 1年2組 | 教室 | 道徳 | 二わのことり     | 自分及び全ての他者をかけがえのない人間として尊重しようとする。                             |
|                         | 2年1組 | 教室 | 道徳 | ぐみの木と小鳥    | 相手の立場や思いに関心をもち、相手のことを考え、温かい心で接するとともに親切な行為について考え、実践できるようにする。 |
|                         | 3年2組 | 教室 | 国語 | わたしと小鳥とすずと | 人それぞれに個性があり、それをその人のよさとして尊重しようとする姿勢を育てる。                     |
|                         | 4年2組 | 教室 | 学活 | すなおにあやまろう  | 友達と喧嘩をした時やトラブルがあったりしたとき、自分から素直に謝ろうという話し合いを進める。              |



1 時間ごとに、人権教育の視点を明示した掲示物やプリント等を用意し、参観者にも授業のねらいが伝わりやすいようにし、互いに研修できるようにしました。

### 人権教育に関する授業研究会



本事業について意見交換を行いました。各取組の有効性の検証と今後の方向性を中心に話し合いました。

### 人権教育総合推進会議



人権教育に関する指導技術向上のため、授業研究会を実施しました。滑川中学校第2学年で、コミュニケーション能力と参加・参画に視点を置き、話し合い活動等を授業に取り入れ実施しました。

### ボランティア育成講座



ボランティア体験を通して、人権感覚を豊かにすることが目的です。共生の精神や多様性を学んだり、コミュニケーション能力を高めたりします。

### 寿学級での人権学習



人権教育に関する作文の朗読、ビデオやパネルシアター鑑賞、現地学習等を行っています。

## 保護者・地域の方へ

子供たちの人権感覚育成のための取組について御覧ください。

## 『人権教育に関する授業の一般公開』にお越しください

「授業の一般公開」を本年度も実施いたします。どなたでも参観いただけます。ぜひ、子供たちとともに人権について考えてみませんか。

|        |           |
|--------|-----------|
| 宮 前小学校 | 9月14日(土)  |
| 福 田小学校 | 10月26日(土) |
| 月の輪小学校 | 10月26日(土) |
| 滑 川中学校 | 11月 1日(金) |



- ・事前の申込は不要です。当日は、上履き（スリッパ等）と下足入れをお持ちください。
- ・授業中の私語や携帯電話での通話は、教育活動の妨げになりますので御遠慮ください。
- ・学校公開は授業の場ですので、ビデオや写真撮影は御遠慮ください。
- ・詳しい日程等は町広報誌等で改めて連絡いたします。

## 家庭でもこんな取組をしてみませんか

自分を大切にする、相手を大切にする心を育む取組を家庭でもやってみませんか。子供の頃の温かい雰囲気やコミュニケーションは心を豊かにすることに深くつながります。

### 『お子さんの『話したい』に応じてあげる時間を』 家族で『話しタイム』

誰でも他者から認められたいと思っています。これを承認欲求といいます。この欲求を満たすために、認めたり、褒めたりする言葉かけや態度は大切です。これは、自分を大切にする気持ちだけでなく、相手を大切にする気持ちを高めることにつながります。短い時間で構いません。家族で向き合い、お子さんの話に耳を傾けてみてください。その際、以下の点が重要です。

#### 傾聴する

相手の話に耳を傾け、深く理解していこうという姿勢で聴く

#### 受容する

相手の言葉や感情を、ありのままに受け入れる

#### 共感する

相手の考えていることや感じていることを、自分も同じように感じていく

### 『成功で自信をもたせ、失敗で思いやりを育てる』 チャレンジタイム

挑戦することは、成功と失敗がつきものです。成功したときには大いに褒めてあげ、自信をもたせてください。失敗したときには、挑戦したことを褒めてあげ、再度挑戦したいという気持ちをもたせてください。その際、以下の点が重要です。

#### 傾聴する

子供たちの思いに向き合い、「どうして挑戦しようと思ったの」「どうして成功できたの」等の声掛けをし、深く理解していこうという姿勢で聴く

#### 受容する

成功、失敗にかかわらず、挑戦したこと自体を認め、受け入れる

#### 共感する

成功した嬉しさや失敗した悔しさを一緒に受け止めるとともに、自分の体験を伝え共有する